

登録鉄筋基幹技能者更新講習

3 日間で 94 人が受講

関西鉄筋工業協同組合

関西鉄筋工業協同組合(岩田正吾理事長)は2月3日から5日までの三日間、大阪市中央区の建団連会館で初の登録鉄筋基幹技能者更新講習を開催しました。更新講習は、基幹技能者が平成20年度から登録講習制度として、5年ごとの更新登録が義務付けられています。今回は特例講習と通常講習による資格取得者のうち、今年10月までに5年の更新期限を迎える有資格者を対象に、三日間で94人が受講しました。

初日の講習に先立って挨拶した岩田理事長は「当組合では国の直轄工事に登録基幹技能者を特記仕様書に明記するよう求めている。この資格を取得することで皆さんにも恩恵があるように業界として取り組んでいくので、ずっと保持していくようがんばってほしい」と激励しました。

三日間の講習では、いずれも組合会員の森山直樹(城東鉄筋社長)、恵谷信(恵谷鉄筋社長)、長木鉄次(長木鉄筋社長)、田村晃一(田村工業専務)の各氏が講師を務め、関係法令をはじめ安全管理、品質管理、鉄筋工事に関する最新情報などについて講義しました。各日とも最後に修了試験(4社択一方式、20問)を行い、後日の採点委員会で合格者は修了証が更新されます。

